



スボーツ愛ランド

2024

No.540 令和6年

3

西条市報



令和6年度施政方針

令和6年第1回天城町議会定例会が3月5日に開会し、森田弘光町長が令和6年度の町政運営について施政方針演説を行いました。その全文を掲載します。

はじめに

本日、令和6年第1回天城町議会定例会が開催されるにあたり、町政運営の基本方針と施策の概要をはじめ、町政運営の基本となる令和6年度予算案を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、元日に発生しました能登半島地震におきまして、お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りいたします。また、今なお厳しい生活を送っておられる被災者の方々に、改めてお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧を願っております。

今回の震災は、半島部という隔離性の高い地域で発生したことにより、交通網の寸断や集落の孤立などが発生しました。外海離島に住む私達にとっても、教訓とすべきことが数多くある震災であるかと感じております。本町において、災害に対する備えに更なる万全を期してまいります。

昨年、奄美群島は日本復帰70年の節目の年を迎えました。改めて、今日の奄美群島を築きあげてきた先人達に思いを馳せるとともに、更なる町政の発展に努めていく決意を新たにしましたところでございます。また、復興からこれまでの道のりを支えてきた奄美群島振興開発特別措置法につきまして、去る2月9日に、法延長に向けた閣議決定がなされたところでございます。向こう10年間を見据え策定された「奄美群島成長戦略ビジョン2023」を基軸とし、本町におきまして、引き続き、奄美群島振興開発事業の計画的な推進を図ってまいります。

また、昨年10月には本町において「燃ゆる感動かごしま国体トライアスロン競技」が開催され、各都道府県の選手による熱戦が繰り広げられました。歴史ある国民体育大会の開催地に名を連ねることができ、名実ともに「スポーツ愛ランドあまぎ」を体現することができたものと感じております。これもひとえに、花いっぱい運動や炬火リレー、当日のボランティアなどで大会を支えていただいた町民の皆様のご協力の賜物でございます。

ます。改めて厚く御礼申し上げます。

さて、活力ある地域を創っていくためには、若い世代の力が必要不可欠です。次世代を担う本町の子ども達を思い、本町ご出身で川崎商工会議所名誉会頭などを務められていた山田長満氏より、町及び母校の岡前小学校、北中学校に對して総額1億5,000万円となる多大なご寄附をいただきました。山田氏のふるさと子ども達に對する思いをしっかりと受け止めます。町の発展や教育に活用してまいります。改めて、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

また、わたくしは就任以来、子育て支援に重点を置き、各種施策に積極的に取り組んでまいりました。最近では、町外の方々からも「天城町は子育てしやすい町」と温かい評価をいただけるようになってきております。新年度からは「Waku Waku紙おむつ給付事業」を新たに開始するなど、子育て支援施策で名高い兵庫県明石市にも肩を並べるほどの、子育て支援メニューが揃いつつございます。引き続き、子育て支援のみ

ならず、各種主要施策を重点的に推進し、「住んでよかった。暮らし満足度NO1の町」を真に実現するために、新年度も全身全霊で町政運営に取り組んでまいります。

本年は「Waku Waku（わくわく）はじめよう！わたしにできること。あなたにできること。みんなにできること。」をスローガンに掲げ、私のモットーであります「先ず陳より始めよ（率先垂範）」「スピード感を持って対応」「必ず記録・メモをとろう」を職員と共有し、「変化を恐れず動き出す」とを常に意識しながら町民サービスの更なる向上に努めてまいります。

天城町の心は「わーち」。心をつなげて、共にがんばりましょう。

以下、重要施策につきまして説明申し上げます。

1 安定した雇用を創出する

（1）農業・水産業の持続的発展による経済の活性化及び所得の向上

令和4年度の農業総生産額は、子牛価格の低迷や悪天候によるばれいしよの生産量の減少により41億5千万円にとどまりました。また、燃油や肥料・飼料等生産資材の高騰が今なお続いており、農業経営を大きく圧迫してお

ります。国・県におきましては肥料価格高騰に対する緊急支援事業や肉用子牛生産者補給金の交付が行われているところですが、さらに、町としましては、単独事業により、セリ子牛1頭当たり1万円を助成する畜産経営安定対策事業や堆肥助成の拡充を行ってまいりました。

資材価格の高騰は今後も続くことが予想されております。生産力向上と持続性の両立を目指し、自給肥料や自給飼料の活用により足腰の強い農業に取り組んでまいります。

また、持続可能な社会を目指すSDGsへの取組が世界的に進められていくなか、環境との調和や、希望する全ての人が営農できる農業づくりも重要となります。さらには、これまで営まれてきたさとうきびの手植え手刈り、さつまいも栽培などの農業文化を次世代に継承することも必要だと考えております。これらの課題に取り組むべく、大規模集約化を推進しつつ、新たに「島農業復活プロジェクト」を展開し、第3次天城町農業ビジョンで掲げた45億円を達成できるよう「楽しい農で目指せ楽農！」「目指せ45億！」をスローガンに農業の振興を図ってまいります。

地域農業の安定化を図るため、引き続き、農業センター研修制度や指導農業者による指導等を通じて新規就農者や地域を担う人材への支援を行ってまいります。併せ

て、女性の農業参画や農福連携など地域農業を支える人材の確保に努めてまいります。

人・農地プランが法定化され、地域計画を定めることとされています。農家が守ってきた農地を次の世代へ引き継ぐため、農地中間管理事業を推進し、担い手への農地の集積を進めてまいります。

令和4年度から農村型地域運営組織（農村RMO事業）を活用し、「地域資源の活用」「農用地の保全」「生活支援活動」を目的に、ワークショップやマルシェの開催と、地域における課題や意見について収集を行いました。新年度も定期的なマルシェの開催や農産加工品の試作、農用地の保全活動、「あまぎ自然と伝統文化体験館」内の直売所開設に向けた農産物の集出荷システムづくり、高齢者の買い物支援等、地域の課題解決と活性化に向けて取り組んでまいります。

基幹作物でありますさとうきびは、熱帯地方での作物の光合成能力の高く、特有の反応経路をもつ植物群、いわゆるC4（シーよん）植物として地球温暖化の一因となる二酸化炭素を吸収する機能が他の植物に比べて高いと言われております。また、本町のみならず奄美の経済を支えてきた文字通りの基幹作物であります。今期産は基準糖度13.7度の1トン当たりにおける生産者手取り価格が2万4千616円と、過

去最高を3期連続で更新しております。生産量につきましては、天城町で6万1千4百トン、徳之島三町では約16万トンの見込みとなっており、なっております。

一方で収穫面積が減少に転じ、農家の高齢化や労働力不足による適期植付け・管理作業の遅れ等による単収低下が懸念されるとともに、今期は製糖工場の機器故障により製糖期間が延び、管理作業の遅れも危惧されるところです。ビレットプラントやスクープ等の高性能農業機械の活用、土壌診断の推進や堆肥投入による土づくりに、可動式誘殺灯による病害虫対策、手植え助成の拡充により次期増産へつなげてまいります。

畜産につきましては、町内繁殖雌牛頭数が4千4百頭を超え、出荷頭数も3千頭を超えました。なお一方では、低調な子牛価格推移と飼料価格の高騰も重なり経営が圧迫されておりますが、商品性の高い子牛生産体系の確立を目指し、引き続き繁殖素牛導入・自家保留促進助成事業による優良雌牛更新を進めてまいります。

また、畜産クラスター事業や町単独事業で規模拡大や省力化を図るとともに、飼料畑に対する土壌改良資材助成の継続により、良質粗飼料の自給率向上を図ってまいります。

さらに、家畜排せつ物の適正な処理・有用な有機物肥料の活用に向け堆肥舎等整備事業も引き続き行なってまいります。

加えて、環境対策の一環として、未利用の牛糞や作物残渣の堆肥化も視野に入れた堆肥センターの導入も検討してまいります。

ばれいしょにつきましては、昨年の悪天候による生産量の低下から、作付け面積の減少が懸念されるところでしたが、今期植付けは185haと微減にとどまりました。定時・定量・定質の三原則に地域全体で取り組み、消費者や市場からの更なる高評価確立を目指してまいります。そのため、農業センターや関係機関による研修会の開催、営農指導による生産技術の向上、適期管理の周知、畑かん利用の推進を行ってまいります。また、輸送コスト支援事業や野菜価格安定基金事業による経営面からの支援、機械導入助成やドローンによる薬剤散布助成など作業省力化支援を行ってまいります。

新たに、「島農業復活プロジェクト」の一環として、試験的にさつまいも栽培を行い、輪作による圃場の有効活用と夏場の所得確保を目指し、島内加工を見据えたさつまいも栽培に取り組んでまいります。

果樹につきましては、引き続きマンゴー、パッションフルーツの品評会を開催し、農家同士での情報交換の場を設け、町全体で技術の高位平準化を目指してまいります。また、タンカン、ピタヤにつき

ましては、果樹経営支援対策事業を活用し、栽培面積の増加に努めてまいります。

トルコギキョウにつきましては、は、自給苗によるコスト軽減と密植による生産量の増加に努めてまいります。

食育・地産地消につきましては、「第3次食育推進計画」に基づき、本町の食の魅力を再発見し、多様な食文化と豊富な農畜産物を活用してまいります。そのため、農業センターに電子図書を導入し、農業塾や技術セミナー等の充実による野菜や花づくりの実践、簡易ハウス補助の下限撤廃によるハウス面積拡大と、苗もの市の開催で活発な家庭菜園の普及を図り、自給野菜の確保に努めてまいります。また、生産者と給食センターの連携を図り、学校給食に地産の食材が提供出来る仕組み作りに取り組んでまいります。

新年度から新たに、「われんきやファーマー育成事業」を実施し、未来を担う子ども達へ、食育講演会や教育ファームでの農林漁業体験、郷土料理伝承教室などを幅広く行い、食と農への興味と理解を深めながら、健全な食生活を実践できるよう食育の推進を図ってまいります。

土づくりにつきましては、限られた農地で収量を上げる為には単収向上が不可欠です。土壌診断に基づく肥料設計、堆肥や緑肥等の

有機物施用の推進等についても取り組んでまいります。

鳥獣被害対策につきましては、イノシシ等による農作物被害は減少傾向にあります。

鳥獣被害対策実践事業の活用や防護柵の点検、破損箇所の補修等を引き続き進め、更なる被害の軽減に努めてまいります。

全国的にジビエ料理が注目され機能性も高いリュウキュウイノシシの需要は高まりつつあります。その需要に応えるため、山猪工房あまぎへのイノシシ持ち込み数の確保に努めてまいります。肉の販売に加え、加工品開発にも取り組む、流通販売の確立とジビエ料理の普及に取り組んでまいります。

林業につきましては、島内産材を鹿児島本土へかつお節用の薪材として出荷しております。今後も島内産材の普及と利用促進に努めてまいります。

松くい虫被害は減少しましたが、引き続き樹幹注入を実施し、貴重な松資源保護に努めてまいります。

また、森林環境譲与税を活用した町内需要の促進などにより、林業者育成を推進してまいります。特用林産物の生産については、キクラゲ類栽培の産地化を進めてまいります。

水産業につきましては、漁業者の所得向上を目指して運用を開始した、天城町水産業振興拠点施設

「うおつちよ」において、安定した仕入れを行うとともに、加工品の開発を進め、且つ試験的に移動販売等行うなど販路拡大を図り、地産地消活動を推進してまいります。

また、定期的な「お魚祭り」を開催することにより、漁業者と消費者との交流の場をつくり、天城町の水産物の魅力を広くアピールしてまいります。

町単独事業として取り組んでおります水産業活性化推進事業につきましては、引き続き燃料費助成、漁具及び資材購入助成を行い、漁業従事者の支援、育成に努めてまいります。

農業基盤整備につきましては、「天城町畑かん営農ビジョン」を基に、関係機関及び畑かん推進員と協力をしながら、その基盤整備に取り組んでまいります。

現在進めております6地区の営畑地帯総合整備事業につきましては、令和6年3月末時点で徳之島ダム受益地の散水可能予定面積が、470.9ha、整備率は35.0%となる見込みです。

また、県営畑地帯総合整備事業の清算事務未完了地区につきましては、現在33地区のうち9地区が完了、支払のみ完了10地区、新たに3地区清算委員会を設立しました。引き続き、未完了地区の清算事務に取り組んでまいります。

農道及び水路整備につきましては、新年度は農業基盤整備促進事

業にて、南部で農道240m、北部地区で農道220m、浅間・平土野地区で農道330m・排水路100mの整備を進めます。また、かごしまの農業未来創造支援整備事業で浅間池田地区排水路175mの整備を実施してまいります。

新たな農業農村整備事業の導入に向けて、新年度より2カ年を掛け、環境への配慮や地域住民の多様なニーズに対応する為の農村環境計画の策定を行ってまいります。また、第二南部地区につきましては、令和8年度の事業採択に向けて換地計画概要書及び農業農村活性化計画書を作成いたします。

第二天城南部畑かんにつきましては、経年劣化による基幹部分の弁・栓類の不具合をストックマネジメント事業で修繕するなど、末端の散水施設の更新に向けて取り組んでまいります。

多面的機能支払交付金事業につきましては、新年度も、農地・農道・水路・沈砂池等の維持管理活動及び施設の長寿命化活動に努めてまいります。

地籍調査事業につきましては、34.83%の進捗率となっております。新年度は、与名間の継続6haを進めるとともに、新規20haを要望しております。

(2) 新たな事業創出と観光産業の振興

起業支援につきましては、地域経済の活性化を目的として、令和5年度は1件の平土野地域活性化基金活用事業補助、8件のU・I・ター起業家支援補助を実施いたしました。また、新年度からは、新たに町内在住の起業家に対する「きばれ起業家応援事業補助金」を実施いたします。

企業誘致につきましては、近年様々な企業から本町への事業進出に関する提案や相談を受ける機会も増えてまいりました。企業側のニーズを的確に捉えつつ、本町におけるしごと創出に向け、企業誘致に取り組んでまいります。

商工業につきましては、これまで、地方創生臨時交付金を活用して「物価高騰生活支援クーポン券」事業等を行い、町内商工業者及び町民への生活支援に取り組んでまいりました。また、町単独事業として、平成21年度から取り組んでおります、プレミアム商品券補助事業を引き続き継続し、町内における消費購買の拡大を図ってまいります。

平土野地域につきましては、平土野アートのまち歩き事業や平土野浜でのビーチバレーボール大会の開催、カフェの新規出店など、活性化に繋がる動きが出てまいりました。引き続き、平土野地域の活

性化に向けて、町内外や島外からの来訪客増加につながる施策を展開してまいります。

観光業につきましては、世界自然遺産登録地であることを最大限に活かし、天城町の魅力を広く発信するとともに、観光客受け入れに伴う課題解決に向けて取り組んでまいります。

観光地連携整備事業を活用して整備した大和城バリアフリー型バンガローにつきましては、利用客も順調に増えてきております。観光客のみならず、町民の皆様にも自然体験や憩いの場として活用していただければ幸いです。

横浜・八景島シーパラダイス水族館では、天城町ブースが開設されて2年が経過し、来館者からも好評を得ていると伺っております。引き続き、水族館と連携し、徳之島の海の魅力や天城町を発信してまいります。

令和元年から徳之島と大阪（伊丹）を往復する季節運航便が年末年始及び夏休み期間に就航しております。今後も、引き続き国・県・航空会社等への定期的な直行便就航の要請活動を三町一体となり粘り強く取り組んでまいります。

また、クルーズ船誘致につきましては、国内外からの誘致活動に積極的に取り組んでまいります。平土野港多機能港湾新設につきましては、令和5年度にクルーズ観光及び港湾運送業の有識者をお招きし、平土野港多機能港湾新設

期成同盟会の委員と意見交換会を開催いたしました。今後も課題を整理しつつ、生活・産業・観光・防衛・防災等の多面的な観点で港湾施設の機能強化を県・国へ要望してまいります。

あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業につきましては、引き続き奄美群島成長戦略推進交付金事業を活用し、整備を進めてまいります。隣接する総合運動公園や山猪工房、うおっちよとも連携を図り、伝統文化体験・スポーツのほか、様々な場面で人と人がつながり異なる価値観が出会うエリアの形成を図ってまいります。

トライアスロンIN徳之島大会は、昨年4年振りにスイム・バイク・ランの全ての種目で実施することができました。新年度で第37回を迎えますが、徳之島全体が一体となる一大イベントでありま

す。3,000名を超えるボランティアの方々と一緒になって、この大会を成功に導き「スポーツ愛ランド徳之島」を広く島外に発信し、地域活性化へ繋げてまいります。

スポーツ合宿誘致につきましては、コロナ後、受入れ人数が順調に回復してきております。特に、今年度7度目となったプロ野球近藤健介選手をはじめとする「チームAMAGI」の自主トレでは、全国各地から約30社にもおよぶマスコミ関係者が来島するなど、合

宿地としての注目度も高まっております。今後も、新規実業団・選手合宿誘致活動を行い、本町の地域活性化及び関係人口の拡大に繋げてまいります。

2 新しい人の流れをつくる

(1) ふるさと創生

地方創生関連事業につきましては、「第2次天城町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が計画の最終年度を迎えることから、効果検証を実施し、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」や県の「第2期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、デジタルの力を最大限活用できる新たな総合戦略として改訂し、引き続き本町の地方創生に取り組んでまいります。

また、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、低所得世帯への給付金の支給などを行っている町民の生活を支援してまいります。

先日、総務省統計局の令和5年住民基本台帳人口移動報告において、自治体ごとの転入・転出の比較が発表されました。鹿児島県全体で2,752人のマイナスとなっており、多くの自治体がマイナスとなるなか、本町は僅かですが、15人のプラスとなりました。

これまでの移住・定住施策が功を奏してきたものと、うれしく思います。この流れをより確実なものとするべく、移住・定住施策に力を注いでまいります。そのため、移住相談を専任とする移住コンシェルジュを引き続き配置し、ワンストップ移住相談窓口の更なる体制強化と移住情報ウェブサイト、SNS等を活用した情報発信を行ってまいります。多様な移住ニーズの把握と移住希望者に寄り添った支援を行うとともに、大都市圏での移住フェア等に積極的に参加し、移住人口の増加に努めてまいります。

空き家対策につきましては、令和5年度は9件の空き家バンクの新規登録があり、7件が契約済みとなっております。また、空き家改修費補助は6件の改修を行っております。新年度からは「空き家バンク登録お片付け支援補助事業」も実施いたします。今後も空き家の有効活用を促進するとともに、町ホームページなどで広く空き家情報を提供し、移住・定住者の増加に繋げてまいります。また、天城町空家等対策計画に基づき、空き家・廃屋などの適正管理を啓発してまいります。

また、新年度は新たに住宅を新築した方々を対象とする「天城町新築住宅取得補助金」を創設し、住宅不足解消に努めてまいります。

ふるさと納税につきましては、令和5年度は、1月末時点で5、

051件、8千2百6万1千円と、昨年比プラス5百万円程度となっておりまます。引き続き、ウェブサイトでPRや寄附者様を選んでいただけるような返礼品の発掘とともに、島外での物産展などでのPR活動に取り組んでまいります。また、企業版ふるさと納税につきましましては、令和5年度、13件、3百45万円のご寄附をいただきました。これまでご寄附を頂いた皆様とのお縁を継続していきけるよう、全国へのPR活動を積極的に行ってまいります。

(2) 世界自然遺産登録地として

世界自然遺産につきましては、その価値を将来にわたって保全していくため、引き続き徳之島希少野生動物植物保護事業や徳之島三町ネコ対策事業を実施し、希少野生動物植物の保護や外来種対策に努めてまいります。

また、昨年発足しました徳之島世界自然遺産推進協議会や、全国の世界自然遺産地域が加盟する世界自然遺産5地域会議への参画などを通じ、関係機関と連携して世界自然遺産の島・徳之島のPRに取り組んでまいります。

3 健康・妊娠・子育て・教育の希望をかなえる

(1) 子どもから高齢者までみんなが健康の町

保健予防事業につきましては、

「第3期データヘルス計画」を策定し、データを基に効果的な保健事業を実施してまいります。また、「健康日本21(第三次)」の推進に努め、健康寿命の延伸を目標に、疾病の早期発見・早期治療、保健指導につなげ、健康の保持増進と医療費の適正化に取り組んでまいります。

「島外治療旅費助成」につきましては、医療機関の証明書に要する費用の助成や年間利用回数5回を継続し、引き続き利用者の経済的負担の軽減に努めてまいります。

国民健康保険事業につきましては、誰もが安心して医療が受けられるよう、安定的な運営を進めてまいります。マイナンバーカードと健康保険証の一体化(マイナ保険証)の開始に伴い、利用するメリットや、マイナンバーカードの登録手続等の周知・広報を実施してまいります。また、年々高騰し続けている医療費の抑制を図るためレセプト点検等の医療費適正化対策に努めてまいります。

子育て支援につきましては、全産の妊婦・子育て世帯が安心して出産子育てが出来るよう、令和5年度から実施している伴走型相談支援を継続し、妊娠・出生の届出行った妊婦・子育て世帯等に出産・子育て応援給付金を支給するとともに、妊娠後期の両親学級や面談を行い、切れ目のない子育て支援の充実を図ってまいります。

また、乳幼児期の子育て支援として、産後ケア事業・乳幼児健診・親子教室・こそだてらす相談会等を実施してまいります。

町の単独事業としましては、「出産祝い金」や「新入学生未来づくり応援金」、「在宅育児支援金」、「児童養育助成事業による保育料の無償化」、「児童医療費助成」などを引き続き実施いたします。先程冒頭でも申し上げましたが、新年度より、乳児を対象とした「Waku Waku紙おむつ給付事業」を新規に実施することにより、経済的負担の軽減を図ってまいります。

児童福祉法の改正により市町村は、児童福祉と母子保健の一体的な支援体制を有する機関の設置に努めることが義務づけられました。一体的な組織として、子育て家庭に対し相談支援を実施することにより、母子保健、児童福祉の両機能の連携・協働を深め、子育てに困難を抱える家庭に対して、切れ目無く、漏れなく対応することを目指し「こども家庭センター」こそだてらす」を令和6年4月より設置、運用いたします。

保育所につきましては、保育士等の研修の継続、ICTを活用した保育士と保護者との情報連携、登降園管理を運用することで、より安心・安全で質の高い保育環境の実現に努めてまいります。また、保育所の建替え・改修・統廃合・移設等についても、検討委員会を立ち上げ、協議を進めてまいります。

障がい者福祉につきましては、「障がいのある方もない方も住み慣れた地域で共生する社会の実現」のため、農福連携による新たな就労先の提供及び拡充を推進し、障がいのある方が社会活動に参加するための支援に努めてまいります。また、天城町社会福祉協議会への支援強化に努めてまいります。

高齢者福祉につきましては、「敬老金支給」や「高齢者ハンドル形電動車いす購入費助成」、「緊急通報装置の設置」など高齢者に寄り添った事業を継続し、住み慣れた地域で安心・安全・楽しく暮らしていただけるよう支援をいたします。また、老人クラブへの助成を引き続き行い、自主的な地域づくりや活動を支援してまいります。

後期高齢者医療保険事業につきましては、後期高齢者が安心して医療が受けられるよう、安定的な運営を進めてまいります。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の開始に伴い、保健事業（国民健康保険）、地域支援事業（介護保険）と連携を深め、健康寿命の更なる延伸に努めてまいります。

介護保険事業につきましては、「天城町高齢者保健福祉計画」及び「第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）」を策定いたしました。計画の基本理念である、「日本一幸せな天城町」自動・

互助・共助・公助」を念頭に、健康で生きがいをもつてすこやかで暮らせるまちづくり、地域全体で支えあう心ふれあうまちづくり、高齢者の安心・快適な暮らしの確保を掲げ施策の展開を図ってまいります。

地域支援事業につきましては、町民一人ひとりが可能な限り住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしい生活が続けられるように、医療・介護・予防・住まい・地域の見守り等、生活を支える仕組み（地域包括ケアシステム）の構築と充実を図ってまいります。今人生100年時代となりました。介護予防、健康寿命の延伸に向けて、ゆいゆいサロン等や交流会の充実を併せ、元気な高齢者が、支援を必要とする高齢者を支える「地域の担い手」となるような体制づくりの充実・強化に取り組めます。配食サービスにつきましては、新年度も事業を継続してまいります。新たに、高齢者専門宅配弁当事業者との協議を進めているところでございます。

（2）将来の天城町を託せる人材の教育

教育文化の町づくりにつきましては、今後5年間を見据えた「天城町教育大綱」に基づき、「ユイの心」と「郷土愛」を持ち、世界雄飛と島担う人づくりを基本目標として、将来の天城町を託せる人材

育成を引き続き図ってまいります。

学校教育につきましては、人権尊重の理念を基盤とした、一人ひとりの児童生徒を大切に教育を実践してまいります。また、確かな学力を身に付けさせるために、児童生徒主体の授業実践に取り組むとともに、タブレット端末等のICT機器の積極的な活用を推進してまいります。さらに、一人ひとりの児童生徒のニーズに応じた個別最適な学びや、互いに学び合い、練り合い、高め合う協働的な学びのある授業が展開できるように努めてまいります。

また、信頼され、地域とともにある学校づくりを推進するため、令和7年度より全ての小・中学校において、学校運営協議会制度、いわゆるコミュニティ・スクールの導入を計画致しております。新年度は、その準備を進めてまいります。

さらに、西阿木名小中学校の義務教育学校への移行に向けた研究・準備を、学校や地域住民と協議・協働しながら進めてまいります。

デジタル教科書の導入により、児童生徒の学習への興味関心を高めるとともに、教材研究や授業準備の負担軽減を図るなど、教職員働き方改革についても進めてまいります。また、昨年度から国や県の基準により配置している教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の活用を継続し、教職

員がゆとりをもち児童生徒への直接的な指導に注力できるよう支援してまいります。また、教職員の資質向上を図るため、教育講演会の開催や研修機会の確保など、更なる教育活動の充実を推進してまいります。

生徒指導につきましては、心の教育相談員やスクールソーシャルワーカーの配置を継続し、臨床心理士などの専門家によるスクールカウンセリングを定期的に行ってまいります。

特別支援教育につきましては、公認心理師による知能検査の実施や相談体制の更なる充実に努めてまいります。また、B&G海洋センター等の施設を利用した体験活動の充実にも努めながら、引き続き学校間の交流を深めてまいります。

「われんきゃグローバルプロジェクト」につきましては、児童生徒の基礎学力の定着及び学習意欲の向上と保護者の経済的負担の軽減を図るために行っている、漢字検定、算数・数学検定、英語検定の「学力向上検定補助事業」の対象者を、小学校3年生以上から小学校1年生以上に広げて実施してまいります。また、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった海外派遣事業につきましては、新年度は10月にアメリカ・カリフォルニア州へ、中学生4名の派遣を

計画しております。

英語教育につきましては、「天城町英語教育推進プラン」に基づき、小学生や中学生を対象にしたALTの計画的な学校への訪問や、より早い段階から英語に親しんでもらえるよう、英語に堪能な町内在住の方を外国語活動指導者として招聘し、幼稚園・保育所への派遣、さらには各種イベントでの英語体験などにより、英語に親しむ機会の拡充を図ってまいります。特に中学校では、英語の授業において、令和5年度途中から導入している英語ツール「English 4 skills」を活用し、話す・書く・聞く・読むの、四技能のトレーニングや英語の検定試験対策等、個別最適な学習で英語力の向上へと繋げてまいります。

郷土教育につきましては、引き続き世界自然遺産学習「あまぎ学」を通じて自然や文化・伝統に関心をもち、ふるさと天城に愛着や誇りをもつ児童生徒の育成と自然環境等の世界的な価値に関する学びを行います。また、校区・集落の様々な地域の宝を児童が調べ、その良さや魅力を発信する「われんきやガイド」の活動を更に推進してまいります。健康で心豊かな子どもへの育成の推進につきましては、海・みと絵の具を活用したアート作品作りなどのアートワークショップを実施し、自由な表現活動を楽しみながら、心身ともに健康な児童生徒の育成に努めてまい

ります。さらに、山海留学制度の継続的な実施により、学校や地域の活性化に繋げてまいります。

学校給食につきましては、先程、食育・地産地消のところでも申し上げましたが、新年度は、学校給食における地産地消の推進を図るための協議会を設置することとしております。未来ある児童生徒達のために地場産品を積極的に活用し、地域の自然や文化、農業に関する理解を深めるとともに、生産者の努力や食に対する感謝の気持ち、ふるさとへの誇りを育んでまいります。

給食センター建設につきましては、新年度は、用地測量、地質調査、実施設計などを行ってまいります。令和8年度中の完成を目指し、一日でも早く運用開始ができるよう計画を進めてまいります。

高等学校及び高等教育機関への進学希望者を対象に、「天城町育英奨学資金」や「夢と希望の上原勇一郎奨学資金」を継続して貸与してまいります。

樟南第二高等学校との連携につきましては、令和3年度の包括連携協定締結以来、ごみ回収ボックスや絵本の製作、平土野商店街の活性化に向けた検討や高校生版エコツアーリズム講座の実施など、様々な活動に取り組んでまいりました。また、このたび学生寮も完成し、新年度からは、天城町で実り

豊かな青春時代を過ごしたいと希望する生徒の皆さんが増えてくれるものと期待しております。引き続き、包括連携協定に基づく取組を推進し、若い世代の力を活かした地域づくりに努めてまいります。

社会教育につきましては、安心・安全で時代のニーズに合った家庭づくり、学校づくり、地域づくりに向け、各地区推進協議会の活動を支援してまいります。

「地域おこしは集落興しから」の観点で、引き続き自治公民館長研修会をより充実させるなど、活動の支援を行ってまいります。生涯学習講座につきましては、学びの場を提供してキャリアアップ・生きがいづくりを図れる環境を整備するとともに、新規講座の開設や青少年の健全育成・市民のコミュニティの構築等、いきいきとした生涯学習活動の推進に努めてまいります。さらに、引き続き放送大学授業単位取得助成事業を行い、市民の学習意欲の向上及び経済的負担軽減を図ります。

文化芸術の取組につきましては、児童生徒を対象に心の教育芸術鑑賞として「劇団四季公演」「市町村青少年劇場」を開催いたします。また、引き続き全町民を対象に「霧島国際音楽祭 in 天城町」を開催するなど、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うとともに、文化芸術活動の素晴らしさを実感して頂きたいと考えております。

教科セミナーにつきましては、児童生徒の学習意欲向上に向けた環境づくりに努めてまいります。新たに、現役東大生を講師にオンラインを活用した双方向ライブ授業を実施し授業内容の充実を図るとともに、模擬テストにも力を入れ、学力向上を図ってまいります。自主的学び応援事業につきましては、これまで16名の生徒が島外の学習塾夏季スクーリングに参加いたしました。引き続き、自らの目標達成に向けてチャレンジする生徒の支援に努めてまいります。

中央女性学級・高齢者学級につきましては、男女共同参画時代を反映するという観点からも、両学級を一つに統合し、名称を「結さわやかくらす」として新たにスタートいたします。様々な体験活動を通して町民一人ひとりが男女、世代を問わずにお互いを助け合い、楽しい活動を通して、日々の暮らしをさわやかにそして豊かに過ごせるよう支援してまいります。

図書館につきましては、引き続き、時代の変化に合った情報を提供するため、本の選書・購入に努めてまいります。また、映画鑑賞会や読み聞かせなどを行い、親しみを持てる図書館づくりに努めてまいります。

社会体育につきましては、新年度は第65回大島地区大会「柔道競技」と第51回大島地区スポーツ

年団競技別交歓大会「軟式野球競技」が本町にて開催予定となっており、スポーツ団体に対する支援ととも、その受け入れ準備を進めてまいります。また、令和5年度に7年振りに出場いたしました奄美群島日本復帰記念第65回大島地区駅伝競走大会につきましても、継続して出場出来るよう選手の強化を行ってまいります。今後も引き続き、町民一人ひとりがスポーツへの関心を高め、健康づくりや競技力向上が図られるよう取り組んでまいります。

B & G 海洋センターにつきましては、町内の小学生、中学生及び65歳以上の高齢者の方々の施設利用料金を無償化いたします。

現在行っており、ますチャレンジ運動教室や、高齢者を対象とした介護予防教室等を引き続き開催して、幅広くいきいきと誰もが活動できるセンター運営に努めてまいります。また、幼稚園や保育所と連携したスイミング教室を実施し、子ども達の運動技能の向上や親子のふれあいの場としての環境整備を進めてまいります。

プールにつきましては、B & G 財団の修繕助成を活用し、温水化や屋根及び外壁全面改修を行います。令和7年度より年間を通したプールの利用が出来るようになります。併せて、各学校のプール授業の利用促進にもつなげてまいります。

多目的艇庫におきましては、小

中学生の宿泊体験学習時のプログラムの受け入れや水上アクティビティを通して青少年の健全育成を図るとともに、町民の交流の場や観光拠点としての環境整備、利用促進になお一層努めてまいります。

ユイの館につきましては、世界自然遺産登録により島外からの来館者が増加傾向であります。本町で体感できる自然や文化を具体的に紹介、発信するなど地域文化振興に努めてまいります。

文化財につきましては、文化庁や鹿児島県文化財課などの関係機関と連携して、下原洞穴遺跡の国史跡への指定を目指してまいります。

さらに、「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」を活用し、下原洞穴遺跡の学術的な重要性を地域の方々にわかりやすく伝えるためのシンポジウムを開催するとともに、遺跡の内容をよりわかりやすく伝える展示資料の作成を行うてまいります。また、ウンブキ水中鍾乳洞遺跡につきましては、水中鍾乳洞という特殊な環境のため、水中遺跡調査の専門家とともに調査・保存方法の検討を進め、その方針を策定したうえで、適切な取組を推進いたします。

4 時代に合ったまちづくり、安心してくらしを守る

(1) 町民が安心して暮らせる環境の確保

道路の整備につきましては、国庫補助事業による前野岡前横断線及び平和東線の道路改良を継続して実施してまいります。また、毎年行っております集落環境整備事業につきましても、県と協議の結果、過疎債が適用されることとなりました。そこで、一部を前倒しして今議会の6号補正にて計画し、繰越事業として対応してまいります。

地方改善施設整備事業につきましては、新年度は湾屋3号線ほか、集落内排水路の整備を進めてまいります。

道路メンテナンス事業では、浅間地区の西郷橋の補修を行ってまいります。

舗装修繕事業につきましては、戸ノ木線、松原浅間海岸線、兼久当部線、畑尻線、当山2号線、奥川線及び屋戸久線を進めてまいります。

また、町単独事業として、名須3号線の設計及び美笠6号線の改築を行ってまいります。

県から委託を受けております県道管理につきましても、維持補修事業及び路傍樹育成保全事業を継

続して実施してまいります。

町営住宅管理につきましては、入居者の生活環境向上のため維持補修に努めてまいります。令和5年度に引き続き、住宅等ストック総合改善事業にて住戸の長寿命化を図るため、塩満団地2棟8戸について屋上防水やトイレの水洗化を含めた改修リフォームを行ってまいります。

町営住宅整備につきましては、公営住宅建設事業として名須C団地に1棟6戸を建設し、引き続き住宅不足解消に努めてまいります。

公園整備事業につきましては、湾屋川史跡公園の遊具設置が完了いたしました。新年度は総合運動公園北側駐車場及び野球場内野スタンドの改修を行ってまいります。

また、秋利神キャンパスパークにつきましても、再整備の実施設計を進めてまいります。この実施設計は先程の道路と同様に、前倒しして、今議会の6号補正で計画し繰越事業として対応してまいります。

県が着手しております県道83号線改良事業の早期完了及び、県道80号線の整備につきましては、引き続き、粘り強く要望を続けてまいります。

町内の公衆用道路の所有権移転の未完了箇所を正常な状態に移転登記を行うことを目的に、山田長満氏より頂きました寄附金を財源

として登記事務職員を雇用し登記事務を進めてまいります。

防災対策につきましては、平成24年度に整備した天城町防災行政無線設備が稼働から12年が経過し、老朽化対策を踏まえた更新が必要となっており、緊急防災・減災事業債を活用し新年度に基本構想及び実施設計、令和7年度に本工事を実施することとしております。

また、大規模自然災害に備え令和4年度に「前野・西阿木名」、令和5年度に「与名間・松原上区・瀬滝」の計5カ所の指定避難所の防風・防水対策・バリアフリー化など機能強化を図る改修工事を実施いたしました。新年度には、福祉避難所として「天城町老人福祉センター」の改修工事を実施いたします。その他、町内8ヶ所の指定避難所の耐震診断調査も実施しており、今後計画的に機能強化を進め、安心して避難できる避難所を目指してまいります。

去る、令和6年元日の能登半島地震を教訓に、2月10日に天城町防災研修会、2月25日に天城町総合防災訓練を実施いたしました。日頃からの備えをシミュレーションするとともに、14集落ごとの自主防災組織の訓練及び強化を図ってまいります。

また、地域防災の要である消防団員の確保と養成が課題であり、引き続きA・Y・Tや町ホームページを活用し人材確保に努めてまいります。

地域防災力を高める一方、外海離島に属する本町においては、大規模災害発生時の自衛隊等の支援も必要不可欠です。引き続き、自衛隊誘致活動を進めてまいります。

交通安全・防犯対策等につきましては、町内の安心安全なまちづくりを目的とし、令和4年度から令和5年度にかけて、旧富田商店前交差点、空港入口前交差点など計4箇所に防犯カメラの設置を行いました。

また、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、高齢者及び児童生徒の見守りカメラを各所に19台設置いたしました。新年度には、小学校一年生及び高齢者を対象に見守りタグを配布し、行方不明捜索時の早期発見を目指すなどこれまで以上に安心安全なまちづくりに努めてまいります。

さらに、町内交通支部及び交通安全母の会とともに交通ルールや交通マナーの意識向上、並びに飲酒運転根絶運動を積極的に実施し、町内交通死亡事故ゼロを目指します。

公共交通対策につきましては、公共交通利用者の減少や運転者が不足している状況にあり、公共交通の維持・確保の課題解決に向けた見直しが必要であることを踏まえ、基本計画である地域公共交通計画を徳之島地域公共交通活性化協議会において策定し、利便性の向上、持続可能な地域公共交通の形成に向けて取り組んでまいります。

す。

水道事業につきましては、新年度は、令和5年度に引き続き生活基盤施設耐震化等交付金事業により、松原地区の老朽化した導水管、配水管、浄水場施設の更新に取り組んでまいります。

また、漏水調査対策につきましては、デジタル技術衛星画像解析による漏水調査の結果に基づいて、順次修繕を実施してまいります。

水質管理については、水質管理体制の強化を図り、町民が「いつでも安心して飲める、安全で信頼される水道」を目指し水道水の安定供給に努めてまいります。

公衆衛生につきましては、引き続き合併処理浄化槽設置整備事業を推進してまいります。現在、本町においては、合併処理浄化槽設置率が58%となっており、世界自然遺産登録により、環境分野全体への注目度・その重要性も高まっていることから、広報・周知などの強化により、合併処理浄化槽の設置率向上に努めてまいります。

廃棄物対策につきましては、生ごみ処理機購入費助成事業とコンポスト購入費助成事業を継続的に実施しながら、ごみの減量化・資源化を図ってまいります。

不法投棄防止対策につきましては、定期的なパトロールや広報等による注意喚起を行ってまいります。

海岸漂着物地域対策推進事業につきましては、世界自然遺産の島として、本町の景観を守るべく自然環境の維持・保全に努めてまいります。

徳之島愛ランドクリーンセンター新設につきましては、本町での新設に向けた基本構想を策定するため、クリーンセンター新施設整備基本構想策定業務委託を締結しました。新施設建設地の町として、受入れに向けた準備を進めてまいります。また、本町の今後10年間の一般廃棄物処理に関する基本的な事項を定めるべく、一般廃棄物処理基本計画についても併せて策定してまいります。

(2) デジタル化の推進

地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、デジタル田園都市国家構想交付金やデジタル基盤改革支援基金等を積極的に活用し、住民サービスの向上に努め、地域格差のないデジタル化を進めてまいります。

国が推奨する重点取組事項の環境として、自治体と住民の接点である窓口業務の改革を推進するため、「町民にやさしい書かないLINE」整備を行い、町民の皆様の利便性向上に努めてまいります。

また、防災アプリ等に加え、LINEを活用した「町政情報配信サービス」を構築します。町民の皆様が、お持ちのスマートフォン

やパソコン等で情報が取得できる
ようにいたします。

さらに、町営バンガローにつき
ましては、「WEB予約システム」
の導入など、デジタル技術の活用
により利用者の利便性向上を図っ
てまいります。

10月第1週の日曜日及び月曜日
が国（デジタル庁）の定めたデジ
タルの日となります。本町でも令
和5年に引き続き、町民の皆様が
デジタル技術を身近に感じられる
よう「天城町デジタルの日」を開
催いたします。

マイナンバーカードにつきまし
ては、天城町の取得率は1月末時
点で73.7%となっており、引
き続き、施設・個人宅訪問や事前
予約による時間外の申請受付等の
取組を強化し、取得率の向上に努
めてまいります。また、令和5年
10月1日から住民票等のコンビ
ニ交付もスタートしております。
マイナンバーカードを利用した行
政サービスの利便性と効率性を図
るよう積極的に取り組んでまいり
ます。

（3）脱炭素社会の形成

地球温暖化対策、脱炭素社会の
形成につきましては、天城町にお
ける地球温暖化対策の基本方針を
まとめた、「天城町地球温暖化対
策実行計画（区域施策編）」を策定
いたしました。計画に基づき、町
民一体となって地球温暖化対策を
推進していくため、環境サミット

「自然と人と地球にやさしい未来
会議あまぎ」を開催し、地球環境
保全や自然環境保全に対する機運
醸成に努めてまいります。

（4）男女共同参画・ジェンダー 平等の推進

男女共同参画・ジェンダー平等
の推進につきましては、令和5年
3月に策定した「第2次天城町男
女共同参画基本計画」に基づき、「一
人ひとりの人権が尊重され、誰も
が安心して暮らせる町」、「一人ひ
健康で共に支え合う町」、「一人ひ
みんなど進める町民参加の町」を
目指してまいります。新年度は「男
女共同参画・ジェンダー平等宣言
のまち」の表明に向けて、町民全
体の男女共同参画推進に関する機
運醸成を図り、町と町民、事業者
が同じ方向を向いて進むために、
共に目指すべき方向性を取り組む
べき事柄を一人ひとりが自分事と
して感じることができるよう、各
種施策の更なる取組を進めてま
います。

（5）行財政改革の推進と職員の 資質向上

職員個々の意識改革や組織力向
上を図るため、「第3次天城町行政
改革大綱」及び「天城町人材育成
方針」に基づき、国や県への派遣
研修、役職毎のスキルアップ、中

間管理職以上の女性職員の割合増
に向けた研修の充実に努めてま
います。

また、働き方改革の一環として、
男性職員の育児休暇の取得を奨励
するなど、働きやすい環境づくり
に努めてまいります。

税務行政につきましては、町に
おける厳しい財政状況を踏まえ、
自主財源の確保に向けて、安定的
な税収確保に積極的に取り組んで
いるところでございます。町民の
皆様のご理解により、町税等の徴
収率も高まってきております。納
税手段の選択肢充実のため、口座
振替や24時間対応のコンビニ収
納、Pay B（ペイビー）やPa
y P a y（ペイペイ）等のスマホ
決済サービスの推進してまいりま
す。また、税関係の相談に細かく
対応するため、毎月1回休日納付
窓口の開設なども継続的に行って
まいります。

一方、税の公平性と適正な負担
を図る観点から、督促状・催告書
などの送付においても、納税にお
いてご理解が得られない滞納者に
対しては、法に基づき預貯金や生
命保険等の財産調査及び勤務先へ
の給与調査等を行います。そのこと
を踏まえて、預貯金・土地などの
財産差押も積極的に実施すること
といたします。町民の皆様のご理
解をよろしく願います。

また、若年期からの納税意識の
向上と税に親しみを持っていただ
くよう、小中学生を対象とした税
に関する作品募集や租税教育の実

施、さらには、町税に関する様々
な広報等に積極的に取り組んでま
います。加えて、町内各集落に
おける徴収率・納税意識の醸成と
向上を図る観点から、町税等優秀
納税集落表彰も実施いたします。

今後、多様化する行政需要に
的確に対応するため、各課・各部
署が横の連携を図り柔軟な対応が
できるよう、効率的な組織運営を
進め、住民サービスの向上につな
げてまいります。そして、公務の
信頼性を確保するため、コンプラ
イアンス遵守を徹底し、倫理意識
の更なる醸成をめざします。

以上、町政運営の基本方針と施
策の概要を申し上げます。
今後、町民の皆様と共に働き、
健全な町政運営に取り組んでまい
りますので、ご理解ご協力をお願
い申し上げます。

ご卒業おめでとう

春の訪れとともに町内の小中高校では、卒業式が挙行され、今年も卒業生が新たな一歩を踏み出しました。

～樟南二高～

3月1日(金)、樟南第二高等学校で第56回卒業式が行われ、普通科6名、商業科35名、工業科11名、計52名の卒業生が「博文約礼」の精神のもと、未来への夢と希望を胸にそれぞれの道へ巣立っていきました。



普通科



商業科1組



商業科2組



工業科

～北中、天城中、西阿木名小・中～

3月12日(火)、北中学校19名、天城中学校20名、西阿木名小学校2名、西阿木名中学校5名の卒業生の日を迎えました。成長した姿を誇らしげに見せ、友情の絆を確認しながら、これまでの学びに感謝する気持ちを表現していました。



北中学校



天城中学校



西阿木名小・中学校

～岡小、天小、兼小、三京分校、与名間分校～

3月22日(金)、岡前小学校27名、天城小学校14名、兼久小学校9名、三京分校1名の卒業生の日を迎えました。卒業生たちが笑顔で校歌を歌い、先生や保護者から温かい言葉をもらい、中学生活への励みとなりました。与名間分校では、巣立ち式が行われ、4名の4年生が分校を巣立ち、5年生からは岡前小学校で勉学に励んでいきます。



岡前小学校



天城小学校



兼久小学校



三京分校



与名間分校

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これから進むそれぞれの道で活躍することを心から願っています。

天城町防災センターにて令和5年度天城町生涯学習成果発表会が行われ、15団体がこれまで学んだ成果を披露しました。また、1階ロビーでは絵画や生花、書道など12講座の作品が展示されました。



コール天城

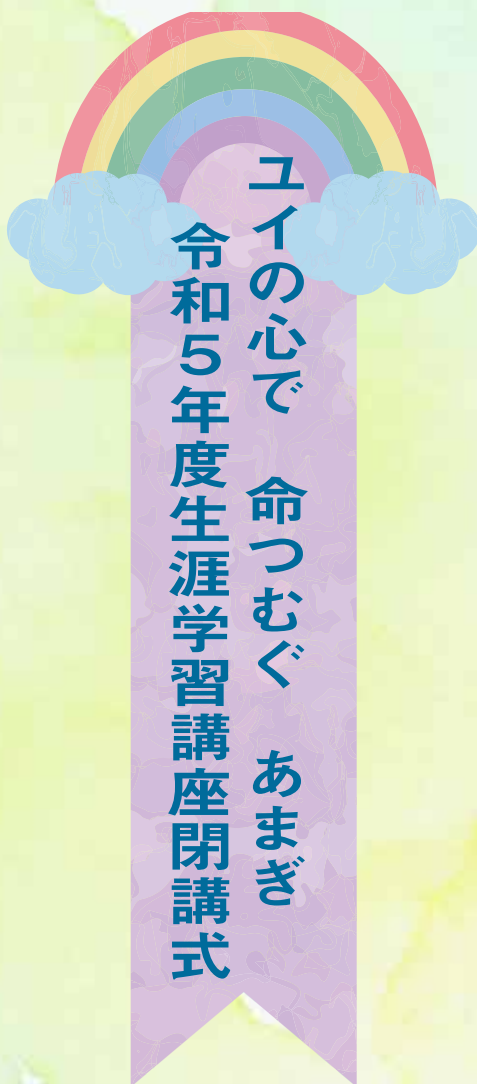
ザ・オールドボーイズ

英会話

結いシアター手舞



作品展示



レクリエーションダンス



DANCE JETs



松西レクリエーションダンス



白鷺会



島むすめ



ラテンエクササイズ
DANCE GROOVE



(日舞) 仙田流



(日舞) 紫苑会

瀬滝レクリエーションダンス

子宝六調バンド

フラダンス
HULA ALOHA

— あまぎマルシェ開催！ —

1月28日(日)、「みんなで楽しもう
♪わいわい!!!あまぎマルシェ」が
B & G海洋センター体育館で開催され
ました。会場では生産農家による花苗
や野菜の販売、フリーマーケット、そ
して今回は、イノシシのメンチカツや
英会話体験コーナーなど計12コーナー



が設けられていました。ステージでは結シアター手舞や岡前小学校3年生によるユイ太鼓そし
て、盛山 南里さんらによる三味線を披露し、来場者を楽しませました。

— 農業塾閉講式 —

3月14日(木)、農業センターにて令和5年度天城町農業塾
閉講式が行われました。今年度の農業塾では「夏の野菜づく
り」や「化学肥料の基礎知識」など計6回開催され、25名が
受講を終えました。閉講式で森田町長は「子や孫に安心安全
な食材を食べてもらうという点でも皆さんの一年間の学びは
重要」「学校給食に地場産の食材を活用できる取組を進めて
いくので、皆さんもおいしい農作物を育てて協力してほしい
」と話しました。



— 指導農業士 認定証授与式 —

2月26日(金)、役場町長室にて令和5年度指導農業士 認
定証授与式が行われました。県の制度で、優れた農業経営を
実践し、地域農業を支える青年農業者等の育成へ熱意と指導
力を併せ持つ農業者が認定を受けるもので、今回、新たに西
阿木名在住の若山 秀也さんが認定され、大島支庁徳之島事務
所八木 修治所長より認定証が交付されました。認定を受けた
若山さんから「先輩たちから教わった農業に対する思いを若
い人たちへ伝えていきたい」と今後の意気込みを話されました。森田町長より「指導農業士と
して県や町と協力しながら徳之島の農業を引っ張って行ってほしい」と若山さんに対し期待を
述べられました。



— さとうきび春植え推進出発式—目指せ250ha—

2月28日(水)、天城町糖業振興会主催のさとうきび春植
え推進出発式が天城町防災センター「さとうきびの碑」前で
行われました。生産者や農協、南西糖業などの関係者併せ約
80人が参加。適期管理によるサトウキビの増産と春植え目標
面積250haの達成を目指し士気を高めました。出発式の最後
にはキビ生産者で“シンガーソングファーマー”の禎 一馬さ
んによる唄「ウギ節」を含む2曲と「がんばろう三唱」で締められました。



— 徳三宝の生涯 漫画「徳三宝物語」が完成！ —

3月12日（火）、役場4階ユイの里ホールにて、「2023年度ふるさとゆかりの偉人マンガ制作と活用事業完成式」が行われ、森田町長はじめ関係者ら約30名が式典に参加されました。明治から昭和にかけて活躍した徳之島出身の柔道家、徳三宝の生涯をまとめた漫画「徳三宝物語」が完成し、島内の小中学校、高校へ贈呈されました。この事業はB&G財団が2021年度から実施している「偉人マンガと活用事業」の予算を活用し、NPO法人「マンガプロジェクト鹿児島」の協力を得て制作されました。



— 第18回クロスカントリー大会 —

2月4日（日）、天城クロスカントリーパークで第18回天城町クロスカントリー大会が4年ぶりに開催されました。1km・3km・5kmのクラスで競われ、幼児から一般まで約150名が参加しました。また、岡前小学校6年の作田莉朋さんと松山 杏咲さんが参加者を代表して元気よく選手宣誓をされました。起伏に富んだコースに時折苦戦しながらも、周辺の景色や自然を楽しみながら、それぞれのペースでゴールを目指しました。各クラス3位まで表彰があり、完走した全員には完走賞も贈られました。



【5kmの部】◆フリー

1位	作城 柘哉	19分18秒	徳之島町
2位	窪 亮介	20分58秒	伊仙町
3位	北 敏樹	21分10秒	伊仙町

【3kmの部】◆中学生男子

1位	初田 一心	11分02秒	天城町
2位	満野 政幸	11分14秒	伊仙町
3位	米 貴太	11分33秒	伊仙町

【1kmの部】◆小学生女子

1位	寛山葉奈子	4分22秒	伊仙町
2位	田井 結楓	4分23秒	天城町
3位	昇 葉々	4分30秒	天城町

【3kmの部】◆小学生男子

1位	稲田建太郎	13分07秒	天城町
2位	福山 龍斗	13分44秒	天城町
3位	田井 一颯	14分32秒	天城町

【3kmの部】◆中学生女子

1位	吉田 春菜	17分57秒	天城町
2位	中原本由美	27分28秒	伊仙町
3位	直江美也子	28分12秒	伊仙町

【1kmの部】◆小学生男子

1位	竹下 聡真	3分53秒	天城町
2位	木本 匡耶	3分55秒	伊仙町
3位	仲山 結喜	3分56秒	天城町

【3kmの部】◆小学生女子

1位	大石 柑那	14分04秒	伊仙町
2位	中原 瑠唯	15分20秒	伊仙町
3位	田井 楓凜	15分30秒	天城町

【3kmの部】◆高校一般女子

1位	吉村 朋恵	19分50秒	天城町
2位	中原本由美	27分28秒	伊仙町
3位	直江美也子	28分12秒	伊仙町

【1kmの部】◆一般女子

1位	池野絵里子	5分53秒	徳之島町
2位	和田 裕子	6分18秒	天城町
3位	川田美智子	6分37秒	天城町

※表彰時の学年となっています。

— あまみ地域づくり褒賞表彰授与式 —

2月13日（火）、役場3階会議室にて「あまみ地域づくり褒賞」表彰授与式が行われました。この表彰は、鹿児島県の「奄美地域 地域振興の取組方針」に基づき、奄美の地域振興に、教育、文化、スポーツ、保健・医療・福祉、環境・エネルギー、まちづくり、地域産業等の各分野で御尽力されている方々を表彰するもので、今回、常日頃より「私たちにできること」を合い言葉に天城町イベントや様々な社会活動に貢献されたことから、天城町地域女性団体連絡協議会が表彰されました。協議会からは3名が出席し代表の大吉 美枝さんへ大島支庁徳之島事務所 八木 修治所長から表彰状が贈られました。



— 天城町教育文化の町推進会議 — ～ユイの心を育む「がんばり賞」表彰～

2月28日（水）、天城町防災センターにて令和5年度第2回天城町教育文化の町推進会議が開催され、日常生活や教育活動の中で模範となる町民を対象に、町全体で「ユイの心」を育むことを目的とした「がんばり賞」表彰が行われました。児童生徒部門26組に対して院田教育長から、一般部門4組に対して森田町長からそれぞれ表彰状が手渡され、計30組が各種賞を受賞しました。受賞者は以下の通りです。



【がんばり賞・児童生徒部門】

○学芸賞 松村 舞（天小6年）、宮山 渚生（岡小6年）、操 璃音杏（岡小6年）
森田 真史（岡小6年）、松村 華（天中2年）、里山 未来（天中1年）
嶺山 結（徳高2年）、中 望愛（徳高3年）

○読書賞 平瀬 樹里（兼小6年）

○体育・健康・安全賞

田井 楓凜（天小6年）、藤原 拓海（与名間4年）、竹下 聡真（兼小6年）
豊村 美友（天中3年）、福山 史也（北中3年）、豊 玲心（北中3年）

○ユイの心賞

基 朝陽（天小6年）、治澤 一樹（岡小6年）、梅澤 詩江（西阿小6年）
太田 ななみ（三京6年）、麓 優翔（北中3年）、重原 一成（西阿中3年）

○特別賞 吉岡 瑛美（天小2年）、牧園 凰史（岡小1年）、若月 優凪（兼小3年）
角川 凜（北中2年）、深澤 麗華（西阿中3年）

【がんばり賞・一般部門】

○各種団体体育成賞

松原上区青年団（松原上区）

○ユイの心賞

益田 仲智（瀬滝）、麓 真奈（松原上区）、西阿木名子供会育成会（西阿木名）

※表彰時の学年となっています。



— ゆめ・ときめきねんりん芸能・レク大会 —

1月28日（日）、天城町老人クラブ連合会主催の第3回ゆめ・ときめきねんりん芸能・レク大会が防災センターで開催されました。各集落の老人会がステージで唄や踊り、三味線などが披露され、会場内後方では習字や絵画、盆栽などが展示されていました。会場には、高齢のかたのみならず、自分のおじいちゃん、おばあちゃんたちの発表を観に来ている子どもたちの姿もみられました。



樟南第二高等学校女子寮完成！！

3月15日(金)、樟南第二高等学校敷地内（武道館横）にて、樟南第二高等学校女子寮完成お披露目式典が行われました。森田町長はじめ、生徒代表ら含む学校関係者、施工関係者など約40人が出席し、完成と新年度からの運用開始を祝いました。また、樟南二高の在校生や職員から公募選定し、決定した寮名称「Nesugata-yama 樟南二高 学生寮」もお披露目されました。奄美設計集団 山下 保博代表取締役がデザインされ、「光による集中と癒し」をコンセプトに勉強や読書に集中でき、光による癒しの空間を演出されており、敷地面積915.06平方メートル、木造平屋建て延べ床面積296.13平方メートル。寄宿舍（個室6畳間）10室と寮監室1室のほか食堂ホール、共同のシャワー室などが町の単独事業で整備されました。



「ユイ結いレターコンクール」表彰式

3月15日(金)、西阿木名小中学校にて、第23回「ユイ結いレターコンクール」表彰式が行われました。結の心と手紙文化の育成などを目的としており、今回は、奄美群島日本復帰70周年を記念して、テーマは「平和とバトン」。今年度は572点の応募があり、その中から、各賞計24名の方が受賞されました。



【天城町長賞】

芳村 ひかり（伊仙町犬田布小学校3年）

照 優那（奄美市名瀬小学校6年）

中村 優花（龍郷町龍南中学校1年）

高 光男（天城町 一般）

【天城町教育長賞】

吉岡 瑛美（天城町天城小学校2年）

大重 杏奈（奄美市名瀬小学校6年）

佐藤 愛（天城町西阿木名中学校2年）

平瀬 広子（天城町 一般）

【天城町校長会長賞】

廣畑 結衣（伊仙町犬田布小学校3年）

春山 虹（天城町岡前小学校6年）

井上 恭仁（天城町西阿木名中学校2年）

中崎 愛子（龍郷町 一般）

【あなたの町の郵便局長賞】

平瀬 詩織（天城町西阿木名小学校1年）

治澤 一樹（天城町岡前小学校6年）

松元 莉己（龍郷町龍南中学校2年）

中村 康平（徳之島町 一般）

【ライオンズクラブ会長賞】

片山 紬（天城町与名間分校3年）

政 瑛奈（天城町岡前小学校5年）

鈴木 乃衣（龍郷町龍南中学校3年）

武元 真美（日置市 一般）

【西阿木名地区推進協議会長賞】

内藤 琉怜覇（天城町岡前小学校1年）

岩下 愛里（天城町天城小学校4年）

基 桜河（天城町北中学校1年）

鶴田 京佑（瀬戸内町 一般）

※表彰時の学年となっています。

一住友生命「子育てプロジェクト」 がじゅまるの家が大賞に!!一

3月12日（火）、役場町長室にて、住友生命保険相互会社主催の第17回「未来を強くする子育てプロジェクト」の最高賞「スミセイ未来大賞」と「内閣府特命担当大臣賞」に輝いた、徳之島町のNPO法人親子ネットワーク・がじゅまるの家の代表 野中 涼子理事長が受賞の報告に来庁されました。同表彰は、地域で子育て環境づくりに取り組む団体の表彰で、全国183団体の応募の中から選ばれ、奄美群島での表彰は初めて。がじゅまるの家は、子育て環境をめぐる様々なニーズに応えながら、病児保育や企業主導型保育園の運営をしており、天城町では地域子育て支援拠点「むすびーの」で、親子で楽しめるイベントや、母親のリフレッシュのためのイベントなどを開催しています。右記QRコードに詳細が載っていますので、ご興味がある方はぜひご覧ください。



一「とくの島」観光・物産フェアが各地で開催！一

東京 代々木



2月18日(日)、関東徳洲会（徳之島三町郷友会）が主催の徳之島から春一番「第9回“とくの島”観光・物産フェアin東京」が東京渋谷区の代々木公園で4年ぶりに開催されました。会場には約2万人が来場し、盛大に賑わっていました。野外ステージでは天城町出身の禎 一馬さん、中学生民謡日本一にもなった森田 美咲さん、松山 晃久さんらを含む徳之島にゆかりのあるアーティスト9組が会場を大いに盛り上げていました。そして、島から運んだパレイショやタンカン、黒糖焼酎や加工品、島料理などを販売し、大盛況でした。

大阪 尼崎

また、3月16日、17日には、3町主催の「徳之島祭り」が阪神尼崎駅前で開催され東京と同様約2万人の方が来場し、徳之島から運んだパレイショやタンカンなど買い求める人であふれていました。ステージでは、徳之島出身のアーティストをはじめ、人気歌手グループのE-T-KINGさんや元ちとせさんなどがゲストで登場し、会場を賑わせていました。



— 天城町防災研修会・防災訓練 —

2月10日(土)、防災センターにて、天城町防災研修会が行われました。瀬戸内町防災専門監の土井 一馬氏を招き、自主防災組織の必要性や役割、重要性について講演いただきました。会場には、町消防団、町職員、町女性防火クラブなど関係者含め約150人が参加し、「自助」「共助」「公助」の現状や過去に起きた大震災時の救助例を基に、自力・脱出または家族による「自助」の重要性を話されました。



また、2月25日(日)には、地震と大津波を想定した天城町全体の総合防災訓練も実施され、地域住民約600人が参加し、各集落の自主防災組織を中心に、消火や炊き出しなどの訓練を行い、実際に災害が発生した時の備えを確認し合いました。

天城町では、令和4年4月からスマートフォンを活用した「天城町防災アプリ」を配信しており、音声や文字によるリアルタイムの防災・行政情報や防災マップに、避難所、津波・土砂災害警戒区域などが見れるアプリがあります。下記QRコードから無料でダウンロードできますので、皆さんもぜひご活用ください。

QRコードandroid



QRコードiOS



— 地方創生短編映画「闘牛の島 とくのしま」上映会in天城 —

3月23日(土)、防災センターにて、昨年上映された地方創生短編映画「クジラの島とくのしま」に次いで第二弾となる「闘牛の島 とくのしま」の上映会が行われ、島内から約300名が来場しました。舞台挨拶では、森田町長をはじめ楽曲を担当した天城町出身のミュージシャン禎 一馬さんや映画に出演された、主人公を演じた前田 明誠さんらを含む主要キャストの皆さんが登壇され、映画製作への思いや映画に出演した感想などについて語っていただきました。また、映画上映前に禎一馬さんと結いシアター手舞によるスペシャルコラボステージがあり、上映前から会場を盛り上げていました。





— ホンダ熊本硬式野球部 天城町合宿 —

2021年の都市対抗野球大会、2023年の社会人野球日本選手権大会で準優勝するなど、九州を代表する社会人野球チーム「ホンダ熊本硬式野球部」が2月12日から2月24日までの間、徳之島合宿を行いました。2月13日(火)には総合運動公園野球場で歓迎セレモニーが行われ、花束や特産品などが贈られました。今年で通算6度目の合宿で、森田町長は「まずは、お帰りなさいと



言いたい」と歓迎の言葉と、「徳之島合宿を土台に素晴らしい成績を収めてほしい」と期待を述べられました。また、渡辺 正健 監督は「今年も縁起のいい徳之島からスタートして昨年以上の結果を出したい」と意気込みを話しました。そして、24日には町内小中学生を対象とした野球教室も開催され、42人の野球少年たちが選手らと交流を楽しみながら、技術向上に励んでいました。

— 霧島国際音楽祭in天城町 —

3月17日(日)、防災センターにて、「霧島国際音楽祭in天城町」が開催されました。会場には、約350人が来場し、世界的に活躍するピアニスト ジャン・チャクルムさんと弦楽器四重奏「フェスティバル・カルテット」の皆さんが、島内では機会の少ないクラシックの生演奏で観客を魅了しました。



広報あまぎ公式LINE開設中！

広報あまぎでは、公式LINEアカウントを開設しています！このアカウントでは広報紙LINE版として町の話や情報を配信しています！また、珍しい・面白い写真や旬な話題などありましたら、トーク画面へお気軽にお寄せください。たくさんの友達追加をお待ちしています♪



ID【@898xkaqr】

問い合わせ先

総務課広報係

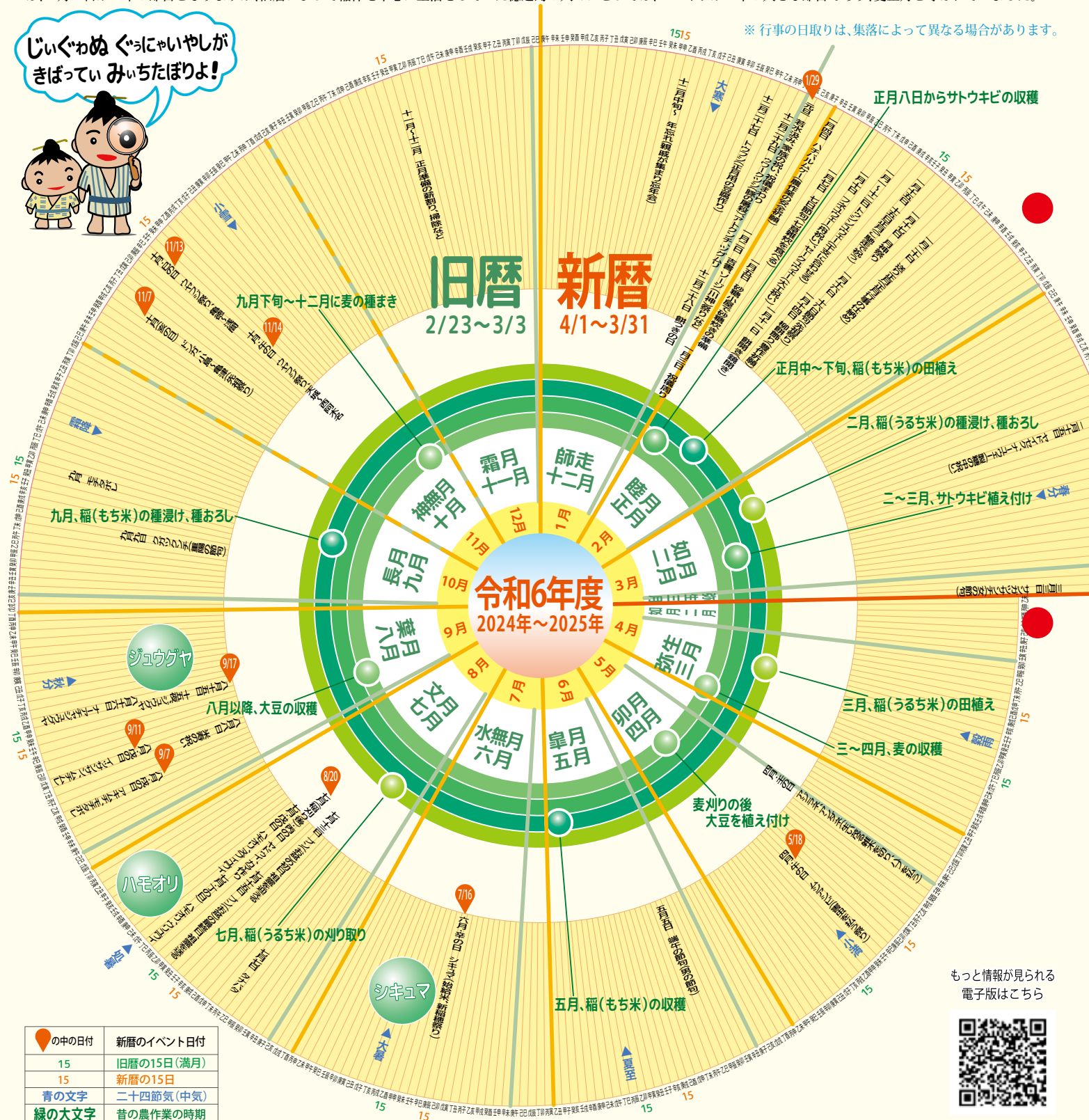
85-4260

新暦では何月何日？ 令和6年度 旧暦行事カレンダー

日本では明治5年以前、6世紀ごろから長らく、月の満ち欠けの周期による太陰太陽暦、いわゆる旧暦が用いられていました。ただ、旧暦では1年がおおよそ354日しかなく、年々季節的なズレが大きくなるため、おおむね3年ごとに閏月を設けて補正していました。古くから暦は農業とも密接な関係がありましたが、旧暦ではどうしても季節的なズレが生じるため、徳之島の人々は暦と併せて植物の芽吹きや開花、渡り鳥の飛来などを利用して、田植えなどのタイミングを見計らっていました。旧暦7月には稲の収穫儀礼で、夏の折目(節目)の行事、ハモオリが盛大に行われます。ハモリギンと呼ばれる晴着を着て、ハモリサバと呼ばれる新調した草履をはいて、この折目行事にのぞみ、夏目踊りを踊って一つ歳を重ねました。また、前年のハモオリ以降に生まれた赤子のお清め(ミーバマクマン)が行われます。現在を生きる私たちは、1月1日が一年の節目となりますが、旧暦によって稲作を中心に生活をしてきた徳之島の人々にとっては、ハモオリが一年の大きな節目であり、夏正月と呼ばれていました。

※ 行事の日取りは、集落によって異なる場合があります。

じいぐわぬ ぐっにゃいやしが
きばって いみちたばりよ!



江戸時代は、シキユマ・ハモオリ・ジウグヤが徳之島の三大遊興日でした!

編集：天城町教育委員会 具志堅亮、山田文彦



令和6年度 各種健診のご案内

天城町特定健診集団健診とあわせてすべての町民の方を対象とした“各種検診”を実施しています。各種検診は、どの健康保険の方でも受けることができます。

胃がん、大腸がん、前立腺がん、腹部超音波検査など40歳以上の方は町の助成で受けられる項目も



対象者

天城町民の方（40歳以上の方は一部助成があります）

健診期間

令和6年5月26日（日）～31日（金）

受付期間

令和6年7月20日（土）～22日（月）

※肺がんCT・内臓CTは7月のみ

頰動脈エコー希望の方は保健センターまでご連絡下さい

受付期間

午前6時45分～10時まで

場 所

天城町防災センター

申込み

**令和6年4月12日（金）までに
申込用紙またはお電話にてお申し込みください。**



【お問合せ】

天城町保健センター TEL 0997-85-4100



各種がん検診等料金表

健診名	通常料金 (助成なし)	40歳以上の方
胃がん(バリウム検査)	4,950円	1,000円
大腸がん(便検査)	1,650円	500円 ※クーポン対象者は無料
腹部超音波	3,740円	1,000円
前立腺がん(血液検査)	1,900円	1,450円
骨粗しょう症(超音波)	900円	900円
C型肝炎ウイルス(血液検査)	1,800円	1,800円 ※クーポン対象者は無料
B型肝炎ウイルス(血液検査)	400円	400円 ※クーポン対象者は無料
肺がんCT	8,200円	8,200円
胃リスク(ピロリ菌)(血液検査)	3,300円	3,300円 ※初回のみ1,000円
※基本健診受診者のみ 心不全リスク(血液検査)	3,000円	3,000円
内臓脂肪CT	3,300円	3,300円
肺がんCT+内臓脂肪CT	9,900円	9,900円
頸動脈エコー	4,200円	4,200円
歯周疾患検診	無料	無料

大腸がん検診、肝炎ウイルス検査・骨粗鬆症検診はクーポン対象の方は無料です。



国立公園内での行為について ～国立公園内での開発行為等については、手続きが必要です～

国立公園は自然の風景地を保護し、その利用促進を図り、国民・県民の保健・教養・教化に資するとともに、生物の多様性を確保することを目的として国（環境省）の指定を受け管理されているもので、奄美群島の一部地域は、奄美群島国立公園に指定されています。

国立公園内では、優れた風景地を保護するため、自然公園法に基づき、各種開発行為が規制されています。国立公園内において、次のような開発行為等を行う場合は、事前に国や県への許可申請・届出の手続きが必要となります。

○ 手続きの必要な行為（一例）

第1種 特別地域	①工作物（建築物を含む）の新設増築 ②木竹の伐採 ③鉱物や土石の採取 ④広告物の掲出	特別 保護 地区	特別地域の規制に加えて ①木竹の損傷 ②木竹の植栽 ③家畜放牧 ④野外での物の集積・貯蔵 ⑤火入れ・たき火 ⑥動植物の捕獲殺傷等 ⑦落葉・落枝の採取 など
第2種 特別地域	⑤野外での物の集積・貯蔵（土石・廃棄物等） ⑥開墾・土地の形状変更 ⑦屋根・壁面の色彩の変更 など		
第3種 特別地域			
普通 地域	①一定規模以上の工作物の新設増築 （建築物高さ13m 又は延面積1000㎡、鉄塔高さ30m、送水管長さ70m など） ②鉱物や土石の採取 ③広告物の掲出 ④土地の形状変更 など	海域 公園 地区	①工作物の新設増築 ②鉱物や土石の採取 ③広告物の掲出 ④海底の形状変更 ⑤物の係留（以上漁業に必要なものを除く） ⑥海面の埋立・干拓 など

○ 許可申請・届出の手続き（令和4年度から一部変更があります。）

- 申請・届出の様式（令和4年度から新様式になっています。）
・様式や必要な添付書類・記載要領については、環境省のHPに掲載されています。（下記URL 又は QR コードからアクセスできます。）
- 標準的な処理期間
・申請内容や申請先により異なりますが、通常約1～3か月を必要とします。（書類に不備があった場合の補正の期間は除く）
- 注意事項
・自己所有地であっても、国立公園内での行為においては、事前に手続きが必要となります。自己所有地が公園区域に入っていないか、公園区域図を参考に事前によくご確認ください。公園区域に入っていた場合は、以下のお問い合わせ先への事前相談をお願いいたします。また、行為箇所の国立公園区域内外の判別ができない場合も以下のお問い合わせ先に御相談ください。
・行為の種類、規模、公園の種類、地種区分の違いにより手続き等に違いがあること、また、行為の場所や内容によっては、許可ができない場合もあることから、申請・届出の前に事前相談いただくようお願いいたします。
・自然公園法の改正が令和4年4月1日に行われたことに伴い、許可が必要な項目や、審査基準に変更があります
・申請等の内容に応じて提出先が異なりますので、申請等に際しては以下のお問い合わせ先へご確認ください。
・非常災害により国立公園内で法で定められた行為の必要性がある場合においても、基本的には許可申請又は届出の手続きが必要です。また、非常災害のために必要な応急処置としての行為を行った場合には、当該内容をその行為をした日から起算して14日以内に届け出る必要があります。

○ 違反行為について

自然公園法の規定に違反しての行為や、無許可での行為等については、罰則が設けられています（1年以下の懲役又は100万円以下の罰金等）。また、違反行為から国立公園を保護するために必要があると認めるときは、原状回復を課す場合があるため、必ず許可を得てから行為を行うようご留意ください。

※ 自然公園法の改正に伴い、従前より罰則が厳重になっています。

☆国立公園の範囲や区域内での許可申請・届出について、不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

○ お問い合わせ先	環境省奄美群島国立公園管理事務所（奄美大島・喜界島・与論島所管） 電話 0997-69-2280
	環境省奄美群島国立公園管理事務所徳之島管理官事務所（徳之島・沖永良部島所管） 電話 0997-85-2919
	大島支庁総務企画課 商工観光係 電話 0997-57-7215
	行為地の市町村役場
○ 許可申請書の提出先	環境省：行為地の所管事務所（上記参照） 県（大島支庁）：行為地の管轄市町村役場
○ 環境省及び県のホームページ（検索方法）	（環境省国立公園関係）環境省_奄美群島国立公園 URL: https://kyushu.env.go.jp/okinawa/procedure/pro_5.html （鹿児島県国立公園関係）鹿児島県庁ホームページ→暮らし・環境→自然保護→自然公園→行為許可申請書・届出書様式 URL: https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/sizenkouen/yousiki/index.html

環境省国立公園関係
HPのQRコード



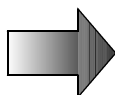
鹿児島県国立公園関係
HPのQRコード





あまぎ学

郷土の歴史や伝統を知り
郷土の自然や文化を学び
郷土のよさを再発見し



故郷「あまぎ」に誇りをもち
故郷「あまぎ」をもっと好きになる

世界自然遺産に登録された、わたしたちの故郷「天城町」。世界自然遺産の価値や天城町の魅力を、児童・生徒に知ってほしい、感じてほしい、学んでほしい、そして故郷天城町に誇りをもち、もっともっと「あまぎ」を好きになってほしいという願いを込めて、天城町では、小・中学校に「あまぎ学」の時間を設定しています。

◇ 平成31年度:世界自然遺産学習「あまぎ学」スタート

☆ 令和5年度:副読本「世界自然遺産学習 あまぎ学」使用開始(あまぎ学ノートも!)

各学校の取組を紹介します!!

【岡前小学校の取組】



- 学年:3年
- 活動名:「太鼓で地域を盛り上げよう響かユイ鼓〜」
- 期間:2〜3学期
- 場所:岡前小学校
- 活動の様子

総合的な学習の時間において「結太鼓」という和太鼓の学習に取り組んでいます。天城町役場職員を講師に招いて、太鼓の打ち方やリズム、所作等を基礎から教えていただき、学校行事等で学習の成果を披露するなど、児童相互の連帯感や地域への感謝の念を高めることに繋がっています。

【天城小学校の取組】



- 学年:5年
- 活動名:「徳之島をもっと知ろうⅢ〜あまぎ学〜」
- 期日:令和5年6月7日(水),8日(木)
- 場所:ウンブキ(浅間湾屋洞穴)、東又泉、アマミノクロウサギ観察小屋他
- 活動の様子

天城町役場の方にガイドしていただきながら、天城町内にある特殊な自然環境や希少な動植物などを学ぶことができました。学んだことをタブレット端末を使ってまとめ、保護者や地域の方々に学習発表会で発表することができました。

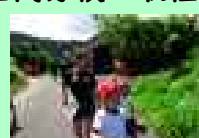
【兼久小学校の取組】



- 学年:全校児童
- 活動名:「地域の伝統踊りをみんなで踊ろう」
- 期間:1学期〜運動会まで
- 場所:兼久小学校校庭及び体育館
- 活動の様子

兼久小の運動会では、伝統的な種目の一つとして、町の無形文化財に指定されている「七月踊り」や「夏目踊り」を児童、保護者、地域の方々と踊ります。練習では、「シマの時間」に地域の女性団体の方に指導していただいています。郷土の伝統・文化のよさを捉え、受け継いでいこうとする態度を養う場活動となっています。

【岡前小学校と名間分校の取組】



- 学年:3・4年
- 活動名:われんきゃガイド
- 期日:令和5年6月26日(月)
- 場所:与名間集落内各所
- 活動の様子

令和4年度より、総合的な学習の時間を活用して、「われんきゃガイド」学習に取り組んでいます。この学習は、「与名間の宝」を発見し、調べたりまとめたり、表現したりする学習です。6月に「与名間の宝」としてまとめたことを、トライアスロン徳之島大会に参加した選手やその関係者20名ほどに対して、ガイド活動を行うことができました。



【西阿木名小学校三京分校の取組】



- 学年：全児童～三京っ子セブン(セブン)～
- 活動名：われんきゃガイド～はじめました！
- 期日：令和6年2月22日(木)
- 場所：三京集落(雨天時は分校内)
- 活動の様子

歩健学研究室代表西村千尋先生のご協力をいただき、三京のことをさらに調べ→まとめ→伝える学習活動に取り組んでいます。伝える活動は2月に実施予定！自分たちが見つけた三京の宝物を自分たちの言葉でまとめて伝えます！

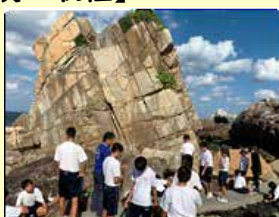
【西阿木名小・中学校の取組】



- 学年：小全学年, 中全学年
- 活動名：伝統芸能(小学生)
あまぎ学(中学生)
- 期日：伝統芸能(年間8回, 各1時間)
あまぎ学(年間1回, 2時間…9/26)
- 場所：伝統芸能…教室
- 活動の様子

小学生は三味線・島唄・民謡を学んでいます。三味線は朝の活動でも取り組んでおり練習や発表を通して、徳之島の文化を学びます。中学生は世界自然遺産地域や史跡に出向いて、貴重な自然や生態系等の見学を通して、天城町の豊かな自然・文化を学びます。

【北中学校の取組】



- 学年：1年
- 活動名：あまぎ学
- 期日：令和5年10月27日(金)
- 場所：ウンブキ、犬の門蓋、天城岳等
- 活動の様子

企画財政課自然保護専門員の岡崎幹人さんのガイドで、天城岳や犬の門蓋などのあまぎの世界自然遺産をめぐるしました。徳之島天城町の自然環境の豊かさ・素晴らしさを体感し、郷土の誇りが育まれました。

【天城中学校の取組】



- 学年：1年
- 活動名：あまぎ学
- 期日：令和5年3月2日(令和4年度)
- 場所：三京林道、当部、犬の門蓋など
- 活動の様子

フィールドワークを通して、自分たちの島の自然の美しさや素晴らしさを知り、地域の自然を大切にしようとする心を育むことをねらいとして、自然保護専門員の方にガイドをしていただきながら、地域の自然を巡りました。

この「あまぎ学」では、天城町役場企画財政課の吉野さん、自然保護専門員の岡崎さん(通称：岡ちゃん)の御指導の下、天城町の魅力に触れる体験活動を中心に学習を進めています。また、今年度より「世界自然遺産学習あまぎ学(あまぎ学ノートもあります!)」も準備され、児童・生徒の学びが、更に深く豊かなものになるようサポートしています。

【わたしたちがガイドです!】

天城町役場企画財政課



右：吉野琢哉さん(グリーン戦略)
左：岡崎幹人さん(自然保護専門員)

あまぎ学でガイドを務めるのはこの2人です。使用する「世界自然遺産学習 あまぎ学」(あまぎ学ノート)を作成していただきました!!

世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間について

毎年4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」、また、同日から8日までは「発達障害啓発週間」です。

自閉症をはじめとする発達障害の方は、他人の意図や感情を直感的に理解したり、言葉を適切に使うことなどが苦手な場合があります。学校や職場でさまざまな問題や困難に直面することがあります。

これらは、親のしつけや家庭環境が原因ではなく、脳機能の発達に関係するもので、見た目には障害があることがわかりにくいいため、行動や態度が誤解されることがあります。発達障害の特徴を知り、正しく理解していただくことが大切です。



▽問い合わせ先：県庁障害福祉課

電話：099(286)2744 FAX：099(286)5558

e-mail: s-ryouiku@pref.kagoshima.lg.jp

特別障害者手当・障害児福祉手当のお知らせ

精神又は身体に著しく重度の障害を有するために、日常生活において常時特別な介護を必要とする状態にある在宅の方の福祉を向上させるために支給される手当です。

ただし、福祉施設に入所している方や3ヶ月を超えて入院している方は、支給の対象外となる場合があります。また、受給資格者、配偶者、扶養義務者の前年の所得額によっては、その年の8月から翌年の7月までを一つの期間として支給を停止する場合があります。

■特別障害者手当（20歳以上の方）：月額28,840円（令和6年4月改定）

■障害児福祉手当（20歳未満の方）：月額15,690円（令和6年4月改定）

※詳しくは、下記までお問い合わせください。

■問合せ先：鹿児島県徳之島事務所福祉課 TEL：0997-82-0233



農地からの赤土等流出防止対策

奄美群島の豊かな自然を後世に伝えていく為、赤土等を河川や海に流さないという意識を持ちましょう！！

ほ場法面が裸地状態だと赤土や土砂等が流出する可能性があります。花や張芝等を植栽することで、雨天や台風時の赤土流出を軽減する事が出来ます。農家個々の対応・対策をよろしくお願いいたします。



（例）圃場の法面に花を植栽し、赤土防止を行っている写真
天城町農地整備課

自動車税の納付について

自動車を所有する皆様，納期内納付ありがとうございます。
ございます。

自動車税種別割は，毎年4月1日時点で自動車（軽自動車は除く）を所有している方に納めていただく税金（県税）です。

今年は「納税通知書発送日」が4月26日（金曜日），「納付期限」は5月31日（金曜日）ですので，納め忘れがないようにしましょう！



自動車税種別割について，納税通知書が届かないなど，ご不明な点がございましたら，鹿児島地域振興局自動車税課（099-261-5611）又は，大島支庁県税課（0997-57-7225）まで，お気軽にお問い合わせください。

船舶海難とマリンレジャー中の 事故ゼロを目指して ～春季大型連休安全推進活動～

奄美海上保安部・古仁屋海上保安署では、気温が高くなり始め増加する船舶海難及びマリンレジャー中の事故防止を目的とした「春季大型連休安全推進活動」を実施します。

【実施期間】4月27日（土）～5月6日（月）

- 船舶を操船される方は、ライフジャケットの着用、発航前検査の実施（気象・海象の事前確認を含む）、作業中を含めた常時見張りの徹底、適切に休息をとり、無理な運航をしないようにして下さい。
- 遊泳等で海に行かれる方は、ライフジャケットの着用、離岸流や天候等への注意、体調管理を怠らないようお願いします。
- 海辺でのレジャー活動を安全に無事故で楽しむための総合安全情報サイト『ウォーターセーフティガイド』の活用を是非お願いします。



ウォーターセーフティガイド
マリンレジャーの事故防止のための安全情報サイト



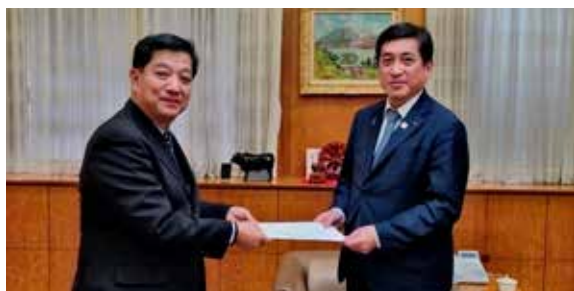
天城町商工会 塩田鹿児島県知事へ 平土野地域活性化に関する要望書を提出

令和6年1月23日、天城町商工会(会長 神田浩生)は鹿児島県庁を訪問し、平土野港の利用促進と活性化について塩田知事と意見交換を行い、要望書を提出しました。

要望書の内容は以下のとおりです。

1. 平土野港 海岸における景観整備。観光振興のためのウォーキングデッキの新設。
2. 安全面に配慮した港湾整備のため、過去、平土野港利用のために設置された旧・桟橋の撤去。

天城町商工会では、今後も天城町の地域振興と経済活性化に一丸となって取り組んでいきます。



天城町移住PR動画が完成しました！

この度、天城町への移住を促進するために移住PR動画を制作し、天城町公式YouTubeチャンネルにて公開されました。この動画では、天城町へ移住された3組の方々から、移住のきっかけや移住前後の変化、そしてこれから移住をお考えの皆様へのメッセージが語られています。

下記のQRコードを読み込むかURLからご覧ください。



水難事故における救助に関する覚書」改正調印式

2月20日(火) 徳之島警察署にて、奄美海上保安部と徳之島警察署、徳之島地区消防組合の3者で、「水難事故における救助に関する覚書」改正文書の調印式が行われました。令和3年7月に世界自然遺産に指定され、コロナ感染拡大防止の規制緩和に伴い、観光客などによる水難事故の増加が懸念されることから、「事故の未然防止のための啓発に係る協力」を追加し、今後より一層、各機関との連携を強化して、水難事故の未然に防ぐことを目的としている。



ユイの里天城「花いっぱいフラワーロード運動」

コ春の訪れとともに、道路沿いに広がるコスモス畑

松原上区集落の県道629号線沿いに、コスモス畑が見ごろを迎えています。子どもたちが会話を楽しみながら下校している中、色鮮やかな花が咲き、通行する方々の目を楽しませています。通りかかったときは、一度足を止めて春の訪れを感じてみてはいかがでしょうか。



まちの話題(9P) 子どもたちがAYTに
やってきました。写真左から
(誤) 岡前小1年生 岡前小2年生 天城小
(正) 天城小2年生 岡前小1年生 岡前小

大島地区肉用牛振興大会表彰

(正)

受賞名	氏名	集落
若雌1区最優秀賞2席	まつのま 松山 瑞生	浅間
若雌1区最優秀賞	あさの 富山 誠一郎 あさの 浅野 秀乃	天城 浅間
若雌1区優秀賞	アトムファーム株	瀬滝
若雌2区最優秀賞	にき 二木 茂輝 はうやま 宝山 照助	浅間 大津川
若雌2区最優秀賞	はんごう 北郷 信秀	浅間
父系群最優秀賞2席	あさき 朝木 祥二郎 ふとり 太 志帆	兼久 浅間
父系群最優秀賞2席	あさき 朝木 理乃	兼久

大島地区肉用牛振興大会表彰

(誤)

受賞名	氏名	集落
若雌1区最優秀賞2席	まつのま 松山 瑞生	浅間
若雌1区最優秀賞	あさの 富山 誠一郎	天城
若雌1区優秀賞	あさの 浅野 秀乃	浅間
若雌2区最優秀賞	アトムファーム株	瀬滝
若雌2区優秀賞	にき 二木 茂輝 はうやま 宝山 照助	浅間 大津川
父系群最優秀賞2席	あさき 朝木 祥二郎 ふとり 太 志帆	兼久 浅間
父系群最優秀賞2席	あさき 朝木 理乃	兼久

お詫びと訂正
広報1月号(No.539)にて左記にて誤りが
ございました。お詫びして訂正いたします。
二十歳のつどい(2P)
(誤) 銃県道競技 (正) 銃剣道競技
農業祭(3P)

徳之島町・林道山クビリ線における通行規制にご協力をお願いします

世界自然遺産に登録された貴重な自然環境を保全するため、2019年7月から徳之島町にある林道山クビリ線は徳之島町条例により、通行規制を行っています。
許可者以外は通行できませんので、ご協力をお願いします。

林道 山クビリ線 地図



★林道山クビリ線で自然観察を行いたい場合は、奄美群島認定エコツアーガイドの同行が必要です！
※林道山クビリ線を利用して天城岳に登山される場合も同様です



お問い合わせ先
徳之島利用適正化連絡会議事務局
徳之島町おもてなし観光課 0997-83-0731
徳之島町農林水産課 0997-82-1150

関	伊宝	五十嵐	福田	牧園	登山	森田	佐々木	寿	稲里	大久	氏名	おた	堀田	畠中	太村	宮	小林	清原	杉山	富
笑	桜	義	琉	椰	結	璃	健	日	蓮	憩	保護者	めん	孝	愛	真	純	真	樹	翔	悠
綾	音	信	花	央	翔	来	成	葉	叶	い	住	で	弥	子	志	子	之	一	安	安
え	祥	愛	絵	理	里	翔	め	志	美	達	所	じ	岡	福	浅	平	岡	亀	与	伊
り	勝	果	里	恵	美	那	ぐ	保	美	也		と	前	岡	土	野	津	名	仙	仙
か	か		子				み					う								
瀬	岡	東	松	浅	天	天	瀬	天	天	浅										
滝	前	京	原	間	城	城	滝	城	城	間										

わたしたちのまち				わたしたちのまち			
(2月1日現在)				(3月1日現在)			
世帯数 (戸)	3,087	世帯数 (戸)	3,100	町民の動き			
総人口 (人)	5,541	総人口 (人)	5,551				
男	2,841	男	2,851				
女	2,700	女	2,700				
(1月届出分)				(2月届出分)			
出生 (8)	死亡 (13)	出生 (4)	死亡 (9)				
転入 (12)	転出 (10)	転入 (28)	転出 (13)				

春島	福島	豊	柳	西久保	益岡	名越	壽	福田	安尾	当	前田	北郷	向井	徳田	壽	吉岡	玉江	氏名
榮子	フサエ	福照	津枝	信子	恭子	キミ子	富一郎	修久	秀樹	直二	光子	祐則	一雄	豊秀	キヨ	光一	アキ	年齢
(95)	(95)	(89)	(71)	(98)	(66)	(88)	(79)	(49)	(45)	(89)	(94)	(91)	(94)	(53)	(99)	(85)	(98)	
瀬	岡	岡	松	天	浅	天	兼	平	天	瀬	浅	瀬	兼	岡	岡	浅	浅	住所
滝	前	前	原	城	間	城	久	土	城	滝	間	滝	久	前	前	間	間	

香典返し

故人	寄附者	金額
吉岡 光一	吉岡 シマ子	5万
久川 光國	久川 勝弘	5万
春山 ノリ	春山 宇市郎	2万
寿 キヨ	寿 章男	2万
徳田 豊秀	徳田 亮太	2万
玉江 アキ	玉江 昌射	3万
壽 富一郎	壽 峰子	2万
名越 キミ子	名越 正浩	3万
当 直二	当 タケ	2万
安尾 秀樹	安尾 さやか	5万
豊 福照	豊 シゲ	3万
重田 賀永子	重田 光則	10万
福山 隆之	福山 雅泰	2万

令和6年1月1日から令和6年2月29日までの届出分のうち承諾を得た方のみ掲載しています。



平山 愛日向ちゃん

勝也・七海 西阿木名
令和5年2月17日

いつまでも可愛く大きく育ってね♡



徳 稀帆ちゃん

直貴・亜梨沙 天城
令和5年2月27日

パワフルなお姉ちゃん2人と仲良く、
すくすく元気に育ってね★



竹田 莉彩ちゃん

大輔・かおり 松原上区
令和5年3月7日

いっぱい笑ってのびのびと成長して
ね♡



安達 輝晴ちゃん

優輝・百恵 天城
令和5年3月2日

一歳おめでとう♡すくすく育ちます
ように！



吉田 糸ちゃん

良司・梨奈 西阿木名
令和5年2月16日

わが家のアイドル！ニコニコ笑顔で癒し
てくれる糸ちゃん。すくすく大きくな
れ♡



松山 聖那ちゃん

貴哉・穂乃香 平土野
令和5年2月1日

えくぼがチャームポイントの聖那さん。
これからもニコニコ元気に大きく



樋渡 昭貴ちゃん

義文・沙也香 瀬滝
令和5年3月19日

元気に優しく大きくなってね(^.^)



田中 心陽ちゃん

浩太・愛香 松原西区
令和5年2月4日

いつも元気で可愛いこちゃん！こ
れからも健康にすくすく育ってね！



福山 結斗ちゃん

伸正・里奈子 岡前
令和4年12月24日

いつも笑顔をありがとう♡元気にス
タスク大きくなーれ♡

まちのアイドル

ご掲載希望の方は右記までご連絡ください。 ☎85-4260

町政の動き

令和5年1月

日・曜日・諸会議・行事等報告

- 1月 令和6年南千徳神社歳旦祭
- 2月 令和6年二十歳のつどい (防災センター)
- 3月 徳之島全島一&ミニ軽量級優勝旗争奪戦 天城町大会 (伊仙町)
- 4月 令和6年仕事始め式 (エイの里ホール) 令和6年天城町消防出初式 (平土野港) 定例区長連絡会
- 7日 天城町天結 (あまゆい) 書道書き初め大会 (防災センター)
- 8月 徳之島中央家畜市場初セリ
- 9月 徳之島愛ランドクリーンセンター全体朝礼 (伊仙町)
- 10月 天城町議会第1回臨時会
- 11月 社会を明るくする運動作文コンテスト表彰伝達 (鹿児島県保護観察所長 ソフトバンク近藤健介選手自主トレ公開日 (B&G総合運動公園))
- 12月 天城町ベストツーリズム・ミレッジ会議 第2回世界自然遺産5地域会議 (京都府)
- 18月 市町村長研修会及び離島緊急医療現況報告会等 (鹿児島市)
- 19月 令和5年度第2回天城町男女共同参画推進会議 全国子ども防災作文コンクール表彰伝達式 (徳之島町)
- 23月 徳之島町建設業協会安全祈願祭 (徳之島町)
- 24月 第16回B&G全国サミット (東京) トラリアスロン 徳之島大会特別協賛事業所訪問 (鹿児島市)
- 26月 日本エアロコミュニティー (株) 取締役会 (WEB会議)
- 28日 天城町ベストツーリズム・ミレッジ全体会議 (エイの里ホール)
- 27日 徳之島3町管理職研修会 (天城町) 赤土ばれいしょ「春一番」出発式 (徳之島町)
- 28日 春のお花見ウオーキング教室 (土名道森林公園)
- 31月 わいわい!!!あまぎマルシェ (B&G海洋センター体育館) ゆめ・ときめき芸能・レク大会 (防災センター)
- 徳之島愛ランド広域連合管理者会議 (伊仙町)

令和5年12月

日・曜日・諸会議・行事等報告

- 1月 職員全体朝礼
- 2月 令和5年度徳之島愛ランド食肉センター畜魂祭 (徳之島町)
- 4日 第18回天城町クロスランナー大会 (天城町)
- 5月 鹿児島県町村会行政財政委員会 (神奈川県)
- 7月 県庁用務 (鹿児島市)
- 9月 市町村長等各種会議 (鹿児島市)
- 10月 防災研修会 (専門官講演) (防災センター)
- 13月 ホンダ熊本硬式野球部歓迎セレモニー (運動公園野球場)
- 天城町ゆたかなふるさと寄附金運営協議会
- 徳之島三カ町議会議員大会 (徳之島町)
- 14月 鹿児島県農業振興協会理事会 (鹿児島市)
- 15月 学校給食交流会 (兼久小学校) 鹿児島県地方創生セミナー (WEB会議)
- 16月 天城町男女共同参画懇話会
- 18月 陸上自衛隊国分駐屯地創立68周年及び第12普通科連隊創設72周年記念行事 (霧島市)
- 19月 天城町教育文化の町本部会
- 20月 徳之島愛ランド広域連合ゆくい堂慰霊祭 (徳之島町)
- 21月 2023 JICA 研修交流イベント (エイの里ホール)
- 22月 世界自然遺産地域連絡会議 (那覇市) 環境省那覇環境事務所訪問 (那覇市)
- 25日 天城町総合防災訓練 (天城町)
- 26月 徳之島土地改良区理事会 (天城町) 指導農業士認定証交付式 (若山秀也氏) 市町村長等各種会議 (奄美市)
- 27日 天城町春植え出発式 (防災センターさとうきびの碑)
- 28月 天城町教育文化の町推進会議 (防災センター)
- 29月 第3回徳之島地域公共交通活性化協議会 (伊仙町)